神から与えられた息

息あるすべてのものは主をほめたたえよ。主をほめたたえよ。詩篇 150:6

モーセ五書

主なる神は、地の塵で人を形造り、その鼻に命の息を吹き込まれた。こうして人は生きた魂となった。（創世記 2 章 7 節）

見よ、わたしは、わたし自身が、天の下から、命の息のあるすべての肉を滅ぼすために、地上に大洪水を起こす。地上にあるすべてのものは死ぬであろう。創世記 6:17

そして彼らはノアのもとへ、すべての生き物の中から二人ずつ、命の息のある箱舟の中に入った。（創世記 7:15）

鼻に命の息吹を持つもの、乾いた地にいたものはすべて死んだ。創世記 7:22

しかし、主なるあなたの神があなたに相続地として与えるこれらの民の町々からは、息をするものを何一つ生かしておいてはならない。申命記 20:16

歴史

こうしてヨシュアは山地、南方の地、谷間、泉のほとりの地、そしてそれらの地のすべての王を打ち滅ぼし、一人も残さず、イスラエルの神、主が命じられたとおり、息をする者すべてを滅ぼし尽くした。ヨシュア記 10 章 40 節

そして彼らは、そこにいた者たちを剣で打ち殺し、完全に滅ぼし尽くした。息をする者は一人も残さなかった。そして彼はハツォルを火で焼き尽くした。イスラエルの子らは、これらの町々の略奪品と家畜をすべて自分たちのものにした。しかし彼らは、一人残らず剣で打ち殺し、滅ぼし尽くし、息をする者も残さなかった。ヨシュア記 11:11,14

すると、主の叱責と、その鼻息の吹きによって、海の水路が現れ、世界の基が露わになった。サムエル記下 22:16

彼が王位についたとき、彼はヤロブアムの家をすべて打ち滅ぼし、ヤロブアムに息をする者を一人も残さず、彼を滅ぼし尽くした。これは、主がそのしもべシロ人アヒヤを通して語られた言葉のとおりであった。列王記上 15:29

その後、その家の女主人である女の息子が病気になり、その病状はひどく、息も絶えてしまった。列王記上 17:17

詩

彼らは神の息吹によって滅び、その鼻息によって滅ぼされる。ヨブ記 4 章 9 節

彼は私に息をする暇も与えず、私を苦しみで満たす。ヨブ記 9:18

すべての生き物の魂と、すべての人間の息吹は、その御手の中にある。ヨブ記 12:10

彼は闇から去ることはない。炎は彼の枝を枯らし、彼の口の息によって彼は去るであろう。ヨブ記 15:30

私の息は腐り、私の日々は終わり、墓は私を待ち受けている。ヨブ記 17 章 1 節

私の息は妻にとって異様なものだった。私は自分の体を守るために子供たちのために懇願したのに。（ヨブ記 19:17）

その間ずっと、私の息は私の中にあり、神の霊は私の鼻孔にある。ヨブ記 27:3

神の霊が私を造り、全能者の息が私に命を与えた。ヨブ記 33:4

もし神が人に心を向け、その霊と息を自分の内に集めるならば、ヨブ記 34:14

神の息吹によって霜が与えられ、水の幅は狭められる。ヨブ記 37:10

彼の息は炭火を燃え上がらせ、彼の口からは炎が噴き出す。ヨブ記 41:21

すると、水の流れが見え、世界の基が明らかになった。主よ、あなたの叱責によって、あなたの鼻息によって。詩篇 18:15

どうか私を敵の意のままに引き渡さないでください。偽証人が私に立ち向かい、残虐な言葉を吐き出す者たちがいるからです。詩篇 27:12

主の言葉によって天は造られ、そのすべての軍勢は主の口の息によって造られた。詩篇 33:6

あなたが御顔を隠されると、彼らは苦しみ、あなたが息を取り去られると、彼らは死んで、塵に帰る。詩篇 104:29

彼らには耳があるが、聞こえない。口には息がない。詩篇 135:17

彼の息は絶え、彼は土に帰る。その日、彼の思いは消え去る。詩篇 146:4

息あるすべてのものは主をほめたたえよ。主をほめたたえよ。詩篇 150:6

人の子らに起こることは獣にも起こる。全く同じことが彼らに起こる。一方が死ぬように、他方も死ぬ。まことに、彼らは皆同じ息をしている。だから、人は獣より優れているところはない。すべては空しいのだ。伝道の書 3:19

預言

鼻に息のある人間から離れよ。いったい何のために人間は数えられるのか。イザヤ書 2:22

しかし、彼は正義をもって貧しい者を裁き、公平をもって地の柔和な者を戒める。彼は口の杖で地を打ち、唇の息で悪人を殺す。イザヤ書 11 章 4 節

彼の息は溢れ出る流れのように首の真ん中まで達し、虚無のふるいで諸国をふるいにかけるであろう。そして民の顎には手綱がかけられ、彼らを迷わせるであろう。トフェトは昔から定められ、まことに王のために備えられており、彼はそれを深く大きく造った。その薪の山は火と多くの薪であり、主の息は硫黄の流れのようにそれを燃え上がらせる。イザヤ書 30:28,33

あなたがたはもみ殻を身ごもり、わらを産むであろう。あなたがたの息は火のように、あなたがたを焼き尽くすであろう。イザヤ書 33 章 11 節

天を創造し、それを広げた主なる神はこう言われる。地とそこから生じるものを広げた方、地上の人々に息を与え、そこに住む人々に霊を与える方。イザヤ書 42 章 5 節

人は皆、自分の知識において愚かである。鋳造した像は皆、その偶像によって惑わされる。鋳造した像は偽りであり、それらには息がない。エレミヤ書 10:14

人は皆、自分の知識によって愚かになり、鋳造した像によって惑わされる。鋳造した像は偽りであり、それらには息がない。エレミヤ書 51:17

あなたは私の声を聞かれた。私の息遣い、私の叫びに耳を傾けてください。哀歌 3:56

主の油注がれた者、私たちの鼻の息は、彼らの穴に捕らえられた。私たちは彼について、「彼の陰の下で、私たちは異邦人の間で生きるだろう」と言っていたのに。哀歌 4:20

主なる神はこれらの骨にこう言われる。「見よ、わたしはあなたがたに息を吹き込み、あなたがたは生き返るであろう。わたしはあなたがたの上に腱をつけ、肉をつけ、皮で覆い、息を吹き込み、あなたがたは生き返るであろう。そして、あなたがたはわたしが主であることを知るであろう。」主なる神はこれらの骨にこう言われる。「見よ、わたしはあなたがたに息を吹き込み、あなたがたは生き返るであろう。」わたしが見ると、腱と肉が骨の上に生え、皮が骨を覆ったが、骨の中には息がなかった。それから彼はわたしに言った。「風に向かって預言せよ。人の子よ、預言して風に言え。主なる神はこう言われる。四方から風よ、来て、これらの殺された者たちに息を吹きかけ、彼らを生き返らせよ。」そこでわたしは彼が命じたとおりに預言すると、息が骨の中に入り、骨は生き返り、立ち上がった。それは非常に大きな軍勢であった。エゼキエル書 37:5-10

しかし、あなたは天の主に逆らい、主の家の器をあなたの前に持って来たのに、あなたとあなたの主君、妻たち、そして妾たちはそれでぶどう酒を飲み、銀、金、青銅、鉄、木、石の神々を賛美した。それらは見もせず、聞きもせず、知ることもない。しかし、あなたの息とすべての道をその御手に握る神を、あなたはあがめなかった。ダニエル書 5:23

どうしてこのわが主のしもべが、このわが主と語り合えようか。わたしには、たちまち力がなくなり、息も絶えてしまった。ダニエル書 10:17

木に向かって「目覚めよ」と言い、物言わぬ石に向かって「起きよ、教えよ」と言う者は災いだ。見よ、それは金銀で覆われているが、その中には息吹が全くない。ハバクク書 2:19

新約聖書

こう言ってから、イエスは彼らに息を吹きかけ、「聖霊を受けなさい」と言われた。（ヨハネによる福音書 20:22）

サウロはなおも主の弟子たちに対して脅迫と殺意を吐きながら、大祭司のもとへ行った。（使徒行伝 9:1）

また、何かを必要としているかのように、人の手によって礼拝されることもありません。なぜなら、神はすべての人に命と息と万物を与えてくださるからです。（使徒行伝 17:25）

外典

そしてあなたは、魂のないアダムに体を与え、それはあなたの御手の業であり、彼に命の息を吹き込まれた。こうして彼はあなたの御前で生きた者とされた。（第二エズラ書 3:5）

しかし、私だけが、彼が口から火の吹き出しを、唇から燃える息を、舌から火花と嵐を吐き出したのを見た。火の吹き出し、燃える息、そして大嵐はすべて混ざり合い、戦う準備をしていた群衆に激しく降りかかり、彼らを一人残らず焼き尽くした。無数の群衆は一瞬にして跡形もなく消え去り、塵と煙の匂いだけが残った。私はこれを見て恐れた。 第二エズラ書 13:10-11

神は人を造り、その心臓を体の真ん中に置き、息と命と理解を与えた。（第二エズラ書 16:61）

私たちは生まれながらにして冒険の途上にある。そして、来ればまるで生まれてこなかったかのようになる。鼻の息は煙のようであり、心の動きは小さな火花にすぎない。ソロモンの知恵 2:2

彼女は神の力の息吹であり、全能者の栄光から流れ出る清らかな影響力である。ゆえに、汚れたものが彼女に入り込むことは決してない。ソロモンの知恵 7:25

あるいは、怒りに満ちた未知の野獣が新たに創造され、燃えるような蒸気を吐き出し、あるいは汚れた煙を散らし、あるいは目から恐ろしい火花を放つ。まことに、これらの力がなければ、彼らは復讐の迫害を受け、あなたの力の息吹によって一撃で倒れ、散り散りになっていただろう。しかし、あなたはすべてのものを量と数と重さで定めた。ソロモンの知恵 11:18,20

その光景は愚か者を誘惑し、彼らは息のない死んだ像の形を欲する。なぜなら、彼らは自分の創造主、すなわち、彼に活動的な魂を吹き込み、生きた霊を吹き込んだ方を知らなかったからである。彼らは異教徒の偶像をすべて神とみなした。偶像には見る目も、息を吸う鼻も、聞く耳も、扱う指も、足も動かない。ソロモンの知恵 15:5,11,15

あなたが生きている限り、息をしている限り、誰にも身を委ねてはならない。シラ書 33:20

炉を燃やす人は熱を帯びているが、太陽は山々を三倍も焼き尽くす。燃えるような蒸気を吐き出し、まばゆい光を放ち、目をくらませる。シラ書 43:4

息のないものは、非常に高い代価で買い取られる。エレミヤ書 1:25

あなたがたがどのようにして私の胎内に宿ったのか、私には分かりません。私はあなたがたに息も命も与えていませんし、あなたがた一人ひとりの肢体を形作ったのも私ではありません。しかし、疑いなく、世界の創造主、すなわち人の創造を成し遂げ、万物の始まりを見いだされた方は、あなたがたが今、神の律法のために自分自身を顧みないのなら、ご自身の慈しみによって、再びあなたがたに息と命を与えてくださるでしょう。マカバイ記第二 7:22-23

しかし彼は自慢話を全くやめず、ますます傲慢になり、ユダヤ人に対して怒りに燃え、旅を急ぐように命じた。ところが、彼は乱暴に運ばれて戦車から転落し、ひどく転んだため、全身がひどく痛んだ。マカバイ記第二 9:7

しかし、まだ息のあるうちに、彼は怒りに燃え上がり、立ち上がった。血が噴水のように流れ出し、傷は重かったが、彼は群衆の中を走り抜け、険しい岩の上に立って、マカバイ記第二 14:45

エノク

私は夢の中で、今から肉の舌と口の息で語るであろうことを見た。それは偉大なる方が人々に与え、それによって語り、心で理解できるようにされたものである。エノク書 14 章 2 節

そして私は正義をもって両手を上げ、聖なる偉大なる神を祝福し、口の息と肉の舌で語った。それは神が人間の肉の子らのために創造し、彼らがそれを用いて語ることができるようにしたものであり、神は彼らに息と舌と口を与え、それによって語ることができるようにしたのである。エノク書 84:1

彼らは生まれて以来、地上の食物を切望せず、すべてを束の間の息吹と見なし、そのように生きた。主は彼らを大いに試練にかけ、彼らの霊は清らかであることがわかったので、彼らは主の御名をほめたたえた。エノク書 108:9

ジャシャー

神は土から人を形造り、その鼻に命の息を吹き込まれた。こうして人は生きた魂となり、言葉を話せるようになった。ヤシャルの書 1:2

我が子よ、今こそ目を覚まして、お前に対する私の苦しみがどれほど辛いものかを見よ。私はお前を育てたわけでも、形作ったわけでも、息吹を与えたわけでもない。お前を形作り、骨を造り、肉で覆い、鼻に命の息を吹き込んだのは神であり、そして神はお前を私に与えたのだ。ヤシャルの書 43:28

そしてモーセは毎日出かけてゴシェンの地へ行き、そこで同胞であるイスラエルの子らが暮らしているのを見た。モーセは彼らが毎日息切れし、重労働をしているのを見た。ヤシェル書 70:34

確かに、主は母の胎内であなたを創造し、命の息を吹き込み、あなたを育て、エジプトの王座に座らせた。そして主はあなたの息と魂を奪い、あなたが取られた土にあなたを返すであろう。ヤシャルの書 79:50

聖書の失われた書物

なぜなら、神は心の思いと計画を探り出す方であり、私たちの中に息吹を宿しておられ、望むときにはいつでもそれを私たちから取り去ることができるからである。（コリントの信徒への手紙一 10:14）

彼は蛾を刺すように彼らを打ち、朝から晩まで彼らは耐えられなかった。彼らは自力ではどうすることもできなかったので滅びた。彼が息を吹きかけると彼らは死んだ。彼らには知恵がなかったからである。（コリント人への手紙 18:7）

主がご自身の頭に香油を注がれることを許されたのは、教会に不死の息吹を吹き込むためであった。イグナティオスのエフェソの信徒への手紙 4:4

忘れられたエデンの書

それから天使は神のもとへ昇り、歓迎されて言った。「神よ、あなたの被造物は息を引き取りました。」 アダムとイブの書 10:2

しかし神は彼とその苦しみ、そして彼がまさに息を引き取ろうとしているのをご覧になった。そして神の言葉が天から来て、彼を水の中から引き上げ、彼に言われた。「高い土手を上ってエバのところへ行きなさい。」彼がエバのところへ来ると、彼女に言った。「誰があなたに『ここに来なさい』と言ったのか。」 アダムとエバの書 33:12

五日目に私は海に命じ、魚類、様々な種類の羽毛のある鳥類、地を這うすべての動物、四つ足で地を歩く動物、空を舞う動物、雄と雌、そして生命の息吹を吸うすべての魂を生み出すように命じた。そして夕となり、六日目の朝が来た。六日目に私は私の知恵に命じ、七つの要素から人間を創造するように命じた。一つ目は、大地からその肉を、二つ目は、露からその血を、三つ目は、太陽からその目を、四つ目は、石からその骨を、五つ目は、天使の速さと雲からその知性を、六つ目は、大地の草からその血管と髪を、七つ目は、私の息と風からその魂を創造するように。 エノクの秘密 30:8-10

そして私は風の休息場所を書き記し、その鍵の持ち主たちが秤と尺度をどのように携えているかを観察した。まず彼らは一方の秤に重りを乗せ、次に他方の秤に重りを乗せ、大地を揺るがすことのないよう、巧みに計量に従って全地に放った。『エノクの秘密』40:8

主は未知の中に基礎を据え、見える天と見えない天を広げられた。主は地を水の上に据え、無数の生き物を創造された。水と、固定されていない基礎、地の塵、海の砂、雨の滴、朝露、風の息吹を数えた者がいるだろうか。地と海、そして消えることのない冬を満たしたのは誰だろうか。エノクの秘密 47:5

なぜなら、すべての生き物は彼を賛美し、目に見えるものも目に見えないものも、すべての被造物は彼を讃美するからである。エノクの秘密 51:6

知識のない息あるものも、口のきけないものも、もはや存在しない。主は被造物に口を与え、主に向かって声をあげさせ、主を賛美させた。主の力を告白し、主の恵みを告げ知らせよ。ハレルヤ。ソロモンの頌歌 7:26-28

彼らは至高なる神が彼らに吹き込まれた霊感によって真実を語った。その御名に賛美と大きな美しさあれ。ハレルヤ。ソロモンの頌歌 18:19

四本の脚はすべて同じ様式で作られ、すべてが非常に巧みに作られ、組み立てられており、自然に忠実に再現するために並外れた技術と知識が注ぎ込まれていたため、そよ風が吹くと葉に動きが与えられ、すべてがそれが表す現実と一致するように作られていた。アリステアスの手紙 3:39

額には汗がにじみ、彼は苦しげに息を荒げていたが、その高潔な魂は、拷問者たちの感嘆をも誘った。マカバイ記第四書 3:7

こうして、息も絶え絶えの苦痛と肉体の激痛の中で、彼は叫んだ。「おお、暴君よ、汝の意志に反して汝が私に与えた恩恵は、なんと栄光に満ちたことか。それによって私は、さらに名誉ある拷問を通して律法への忠誠を示すことができるのだ。」 マカバイ記第 4 章 5:51

あなたの長男が息を引き取っても、あなたの決意は揺るがなかった。拷問を受けながらもあなたを哀れむ目で見つめていた次男も、息を引き取った三男も、あなたの決意を揺るがすことはなかった。マカバイ記第四書 7:13

第四は嗅覚であり、これによって味覚が与えられ、空気を吸い込み呼吸する。ルベンの遺訓 1:17

神はすべてのものをその秩序に従って良しとされた。五感を頭に、首を頭に繋ぎ、美しさと栄光のために髪を付け加え、理解のために心を、排泄のために腹を、消化のために胃を、息を吸い込むために気管を、怒りのために肝臓を、苦味のために胆汁を、笑いのために脾臓を、慎重さのために手綱を、力のために腰の筋肉を、息を吸い込むために肺を、力のために腰を、などと。ナフタリの遺訓 1:20